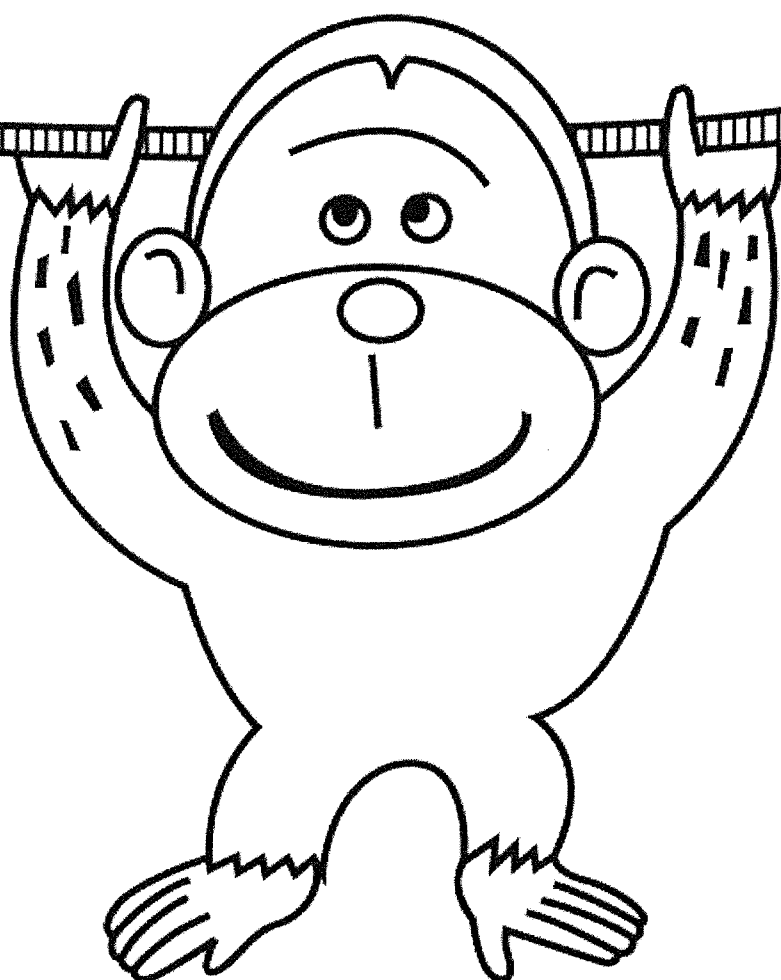


2 年



2年生 目次

2年1組 1・2ページ

2年2組 3・4ページ

2年3組 5・6ページ

2年4組 7・8ページ

二年一組

【 日記より 】

一りん車がとくい

まつぎき りっか

きょう、一りん車をしました。家と学どつに一りん車があるので、いっぱい、れんしゅうしました。

わたしが、一りん車でとくいなわざは、まがるわざです。一りん車がこげても、かんだんにまがれる人はいません。

わたしがにがてなわざは、三人メリーゴーランドというわざです。三人メリーゴーランドは、まん中の人がむずかしいです。

わたしは、一年生のころ、一りん車ができませんでした。でも、二年生になつたら、こげるようになりました。のれるということは、れんしゅうをがんばったんだなと思いました。にがてなわざがどんどんきたらいいなと思います。

いもほりびくへく

はた中 あやか

水曜日に、いもほりをしました。

いもをほるとき、いもが見つからなかったけれど、どんどんほっていったら、いもが出てきました。また、どんどんほっていったら、とれそうになつて、でも出てこなくて、さきっぱをひっぱってみたら、いもがとれました。またほっていったら、いもがたくさん出てきました。

ふくろにいもを入れて、はこにもいもを入れました。

学校へついて、みんなでいもを分けました。

分けたいもを家でやきいもにして食べました。とてもおいしかったです。だからまた、いもほりをしたいです。

しやくしよにいろいろなものを見つけたよ

ちから ゆつたろう

きのう、家ぞくで、マイナンバーカードをとりに行きました。

はじめて、しやくしよに行きました。ドラマのさつえいはしよみたいでした。大きくてひろいばしよにはじめて行ったから、いろいろなものを見つけました。

人がいっぱいいたけれど、日曜日はもっと多いそうです。

マイナンバーカードのぼくのしゃしんを見て、ぼくじやないように思いました。

楽しかった一日

よこ山 かのん

今日、わたしは、こうさくとやき肉をしました。

お昼にまず、おねえちゃんとかうさくをしました。パズルを手づくりしました。じぶんで考えました。できあがると、すごいな、と思いました。じぶんでつくったとは思えないぐらい、うれしかったです。おばあちゃんとおかあさんに見せると、

「じょうずだね。」

と言ってくれました。

おばあちゃんの家で、夜ごはんをたべることになりました。おばあちゃんとおじいちゃんがつくったごはんは、とってもおいしかったです。一人でたべるのもいいけれど、みんなでたべるともっとおいしくかんじました。

おじいちゃんとおばあちゃんにおかえししてあげたいです。

おべんとうのひみつ（読書感想文）

黒木 いろは

おかさんがつくってくれるおべんとうには、おにぎりとおかずがいっぱい入っていて、とてもおいしそうでした。ひょうしを見て、すこしふたがいたおべんとうの中みになりました。

たまごやきのたまごは、にわとりがあさうんだたまごを、ようけいじょうの人があつめて、きれいにパックにつめて、トラックではこびます。だんボールにたくさんたまごを入れて、われないようにはこんでいてすごいなと思いました。

つぎにここにのこったところは、アジフライです。なぜかという、わたしのいえには、毎しゅう魚やさんのトラックがくるからです。魚やさんはじぶんで魚をつってうりにきてくれると思っていました。それはちがいました。りょうしさんが海でとった魚をみなとのいちばで魚ごとに分けて、いちばで魚やさんがかって、わたしのいえにうりにきてくれるのだと知りました。コーンは、とうもろこしをほうちようで切っていると思ったけれど、きかいで一つ一つ、みをとってゆでて、さとうとしおを入れて、かんに入っていることをはじめて知りました。かんに入ったコーンは、あまくてやわらかくておいしくて大すぎです。

わたしがたべるおべんとうのざいりようには、ひみつがたくさんあって、おべんとうの日がたのしみになりました。

おべんとうは、おかさんといろいろな人が気持ちをこめてつくってくれています。

わたしは、ことばで、

「おいしかったよ。」

とつたえるけれど、男の子のように絵をかくて、いろいろな人とよくうつつたえてみたいです。

すてきなおんがえし（読書感想文）

ひがし れな

「こびとさん、わたしのくつもつくってくれる。」

この本を読んで、わたしはこびとさんに話しかけてみたいです。この本は、まずしくなつたくつやのおじいさんとおばあさんのために、こびとたちがすてきなくつをつくってあげ、そのおれいにくつやさんがこびとたちのようぶくをつくってあげるといのお話です。はじめてこの本をえらんだときは、どんなお話だろうと思いましたが、読んでみると、とてもすきになりました。いちばんここにのこったところは、こびとたちがよろこんでいるばめんです。そのわけは、こびとたちが楽しそうで、じ分がこびとだったら、ようぶくをつくってもらうととてもうれしいからです。

この本を読んで、わたしが大切だと思ったことは、たすけあいやさしさ、おんがえしです。だれかをたすけ、やさしくすることは、とてもいいことです。そして、そうすること、じ分におんがえしをしてくれるかもしれない。また、じ分がたすけてもらったら、わたしもおんがえしをしたいと思います。これから、わたしは、こまっている人がいたら、声をかけたり、いっしょに手つだつたりしたいです。もし、じ分がたすけてもらったら、その人に、「ありがとう。」

と言いたいです。

もし、わたしがこびとで、ようぶくをつくってもらったら、もっともつとがんばると思います。

やさしい気もちやおんがえしの気もちを大切に、友だちとなかよくすごしたいです。



二年二組

えん足

くすめぎ ゆい

金曜日に、えん足がありました。バスにのって行きました。かんの池公園につきました。

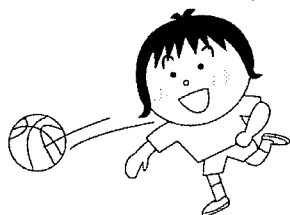
そしたら、南小学校の子どもたちがゆうつぐであそんでいました。だからわたしたちは、広場でドッジボールとかけふみをしました。ドッジボールのボールが当たってしまい、くやしかったです。

つぎに、あみのトンネルやすべり台であそびました。あみのトンネルは足をかけるのがむずしかったけれど、すごく楽しかったです。すべり台は、ローラーがくるくる回っていて、とてもおもしろかったです。

お昼は、お友だちとみんなでお弁当とおやつを食べました。お弁当はお母さんが作ってくれたので、とてもおいしかったです。

さい後に、三また図書かんに行きました。本がたくさんあって、読みたい本がありすぎて、なかなかきめられませんでした。まだこんど行きたいと思います。

みんなとえん足に行くことができて、本当にうれしかったです。



うんどつ会

かい かなで

今日、わたしが楽しみにしていたうんどつ会がありました。さいしょに、ラジオ体操がありました。つぎに、一年生の五十メートル

そうがありました。

そのつぎに、二年生のダンスがありました。おとうさんとおかあさんの前でおどるのはドキドキしたけれど、楽しくおどることができました。

それから、一年生のダンスがありました。そのあと、二年生の五十メートルそうがありました。ぜんりよくではしりました。

さいごに、ぜん校リレーがありました。一番でバトンを三年生にわたせてうれしかったです。みんながんばったけど、じゅんいは二いでした。くやしかったけど、いっちだんけつで、みんなで力を合わせてはしることができました。

うんどつ会がおわって、お父さんとお母さんが、「がんばったね。」と言ってくれました。

じきゅうそう大会

もちなが あらた

金曜日に、うんどつじょうでじきゅうそう大会がありました。まず、一年生がはしって、つぎにぼくたちの番がきました。

はしる前のじゅんび体操のときに、とおくの方にお父さんとお母さんが見えました。すると、しんそうがドクドクしました。

はしりはじめてからどんどんしんそうがいたくなってきたけれど、お父さんとお母さんがおうえんする声が聞こえたので、さいこの力をふりしぼってぜんりよくではしりました。

けっかは二十九だったから、思ったよりかはやかったです。らい年は二十九いよりはやくはしります。

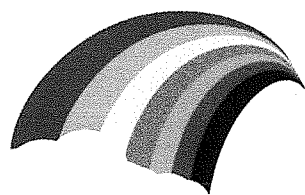


にじ

ぼくは、夕がた、おにちゃんのサッカーがあるの
で、高じょうに行きました。

家を出てからすぐ、あらみたいにとしゃぶりにな
りました。前が見えなかったけれど、五分くらいした
らやみました。そしたら、山の方ににじが出ていまし
た。まほうみたいで、「すごいな。」と思いました。

また、見てみたいです。



しみず がく

新しい本を買ったよ

しみず ゆうこ

今日、わたしは、本やさんと本を買いました。どうして買ったかというと、
学校で図書しつの本をかりるより、ふつうの本やさんで買う方が、たくさん
えらべると思ったからです。

おかあさんは、べつの買いものがあつたので、わたしは、けいたい電話と
自分がある場所が分かる「みもり」というものをもって、本やさんにいま
した。

本やさんで、二さつの本でまよっていたけれど、「ミオとなりのマーメ
イド」という本にしました。どうしてその本にしたかというと、図書かんで
この本を読んだとき、とてもいい本だったからです。おかあさんも、

「いいね。それにしよう。」

と言ってくれたので、これにすることにきめました。

わたしがおとなになったら、「ミオとなりのマーメイド」のような本を
書いてみたいです。

シューズあらい

さかもと わかな

わたしは、シューズあらいをしました。

こんどからは、シューズを新しいものにかえます。ふるいシューズをあら
っているときに、今まで足をまもってくれて、ありがとという気持ちにな
りました。さいごだから、今までよりもさらにがんばりました。

いつもシューズをあらうときには、あらうのは、たいへんだなと思うけれ
ど、つかっているときに、シューズあらいをがんばっていて、よかったとい
う気持ちになります。

これからのシューズも、だいじにつかいたいと思います。

友だちのバレエを見に行ったよ

かねまる ふうこ

わたしは、バレエを見に行きました。クラスの友だちがバレエをならって
いたので、バレエを見ることができました。

バレエの人を見ると、くるくる回っていて、見ていだけで目が回り
そうでした。それから、つま先で立ったり、回ったりしていました。どうや
って一本足で立っているんだろうと思いました。そして、友だちもこんなに
うまくなるまでんしゅうしたんだなと思いました。もちろん、ほかの人も
すごじょうずだったけれど、クラスの友だちが一番じょうずでした。きれ
いで、とてもいっしょうけんめいおどっていました。

ちなみに、わたしは今、くもんをならっています。わたしも、くもんをが
んばろうと思います。

二年三組

【青少年読書感想文コンクール地区入賞】

「あしたプールをがんばるぞ」を読んで

山下 はるよし

この本は、水がこわかったわんすけが、海の中の生きものたちにおよぎ方を教えてもらって、水がこわくなくなったお話です。

ぼくがこの本をえらんだりゆうは、ぼくもおよぐのがにが手で、およげるようになりたいと思ったからです。

ぼくが心にのこった場めんは、わんすけが、海の中の生きものたちにアドバイスをもらったところですよ。りゆうは、海の中の生きものたちがわんすけにやさしく教えてくれたからです。また、海の中の生きものたちが、うごきを見せながらわかりやすく教えてくれたからです。ぼくはこの場めんを読んで、おちついてこわがらないで、およげばらくにおよぐことができるんだと思いました。また、ぼくも早くプールでおよぎたいと思いました。

ぼくは、この本を読んで学んだことが二つあります。一つ目は、どんなこともあきらめないでこわがらずにがんばれば、できるようになるということです。ぼくは、今までわんすけのようにいろいろなことをこわがったりあきらめたりしてきました。でも、これからあきらめずにいろいろなことをがんばりたいです。

二つ目は、人から教えてもらったことを、「ありがとう」という気持ちをもってすなおにこうどうすると、いつかはできるようになるということです。

これからは、ゆう気と「ありがとう」という気持ちでわすれずにいろいろなことをがんばりたいです。

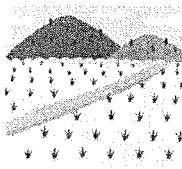
白いごはん

ひら川 あこ

わたしは、白いごはんが一番大好きです。

毎年、おじいちゃんとおばあちゃんがお米を作っているの、そのお手つだいをしています。なえ作りをしたり、田うえのときになえばこをあらったり、いねかりのときには、お米を入れるふくろをじゅんびするお手つだいをしたりします。

おいしいお米ができるにはとてもたくさん時間がかるけれど、おいしい白いごはんを食べたときは、お手つだいをがんばってよかったなあと 생각합니다。これからもお手つだいをがんばって、わたしの大すきな白いごはんをおなかいっぱい食べたいです。



お手つだいをしたよ

ふた村 え花

今日、わたしは、となりのおじいちゃんの家に行きました。そこで弟といっしょにそらまめのかわむきのお手つだいをしました。十こぐらいかわをむきました。そらまめのかわがとてかたくて、つめがおれそうでした。かわの中は白いわたみでした。わたみたいなのが入っていました。絵本で読んだ「そらまめくんのベッド」みたいでした。わたしは、まめがそんなにすきではないけれど、おじいちゃんのためは食べようと思いました。

クレープ作り

まつ下 そうま

今日、おとうさんとおかあさんといっしょにクレープを作りました。おとうさんがき地を作りました。その間に、おかあさんとぼくはクリームを作りました。そして、バナナとみかんを用いました。つぎに、き地にクリームとフルーツをのせてチョコレートソースをかけました。さい後に、き地をまきました。クリームが出てこないようにまくのがむずかしかったです。その後に食べました。おいしくて、何回もおかわりしました。

「また作ろうね。」

とおかあさんが言いました。また作りたいです。



メダ力が大きくなったこと

くらもと あき

六月におかあさんがもらってきたメダカの赤ちゃんが、大きくなりました。水そうには、六ぴきのメダカと一ぴきだけ小さいメダカがいて、ぜんぶで七ひきいます。どうして一ぴきだけ小さいのかおかあさんに聞いたたら、

「もらった水そうにメダカのたまごがついていて、たまごからかえったんだよ。」

と教えてくれました。わたしは毎日、メダカが七ひきちゃんといるか数を数えてからえさをあげています。またおかあさんがメダカの赤ちゃんをもらってきてくれるので、メダカがもっとふえます。



書どう教室のてんじ会

さか口 れいあ

今日は、書どう教室のてんじ会に行きました。ほくは、「うごく」という字をふでで書きました。自分の字がかざってあるのを見たら、せい長したなあと思いました。その後に、おかあさんと先生にほめられました。それを聞いたたら、もっとうまくなりたいと思ったのでがんばります。らい年は、しょうをとれるようにがんばります。



高ちほのみなにのぼったよ

つ田 のん

先週の日曜日に、高ちほのみなにのぼりました。はじめに、じゅんぴ体そうをして、鳥いの前で手を合わせました。さいしょの道はじやり道でかいだんがありました。その後、だんだんきりにおおわれてこわくなりました。手をつかわないといけないすこいがけまで来ました。風が強くて道も細く、前もほとんど見えなかったです。わたしは、帰りたいと思って歩くのをやめました。しかし、みんながはげましてくれたからさい後までがんばろうと思いました。山のちよう上についたときは、やっぱりさい後までのぼってよかったと思います。山のちよう上は、晴れていて雲の上にいるみたいで気持ちよかったです。



二年四組

【日記より】

はがぬけた



いわした りつき

きょう、学校で、七月七日のおやつを食べていたら、はがぬけました。下の前ばから右に三番目のはがぬけました。

おやつをもぐもぐしているときに、とつぜん、「ガリッ」と音がして、はきだしてみたら、はでした。

それを見て、ほくはおどろきました。どうしてかというところ、おかあさんがきのうの夜にはみがきしてくれたときに、

「まだまだはがぬけないよ。」

と言っていたからです。

ぬけたのは、おうちのやねにぶかって四回なげて、五回目にならなげたら、はがなくなっていました。おとなのはがはえてくるのがまちどおしいです。

七月七日はたなばただ

「すぎめぶき

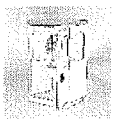
きょう、学校で、七月七日のたなばたのねがいごとを書きました。わたしは、「なにか、さいのうが見つかりますように」と書きました。

それとおひめさまとひこぼしさまにも「おひめさま、ひこぼしさまへ。おしあわせに」とメッセージを書きました。「このメッセージの、」おしあわせに「は、あるいみがあります。それは、一年に一回しか会えないから、」おしあわせに「と書いたのです。」

わたしは、そのよこに絵をかきました。あまの川とたんざくをかきました。わのねがいかなうといいです。



もしもボックスがつかえたら



たなか ゆいか

もしも、一日だけドラえもんひみつどうぐがつかえたら、もしもボックスをつかってみたいです。

もしもボックスをつかって、こんなせかいになってほしいと思うことが二つあります。

一つ目は、ふじ山がどこにいても見えるせかいです。ふじ山は、日本で一番高い山で、きせつによって見え方がちがうから、毎日かんさつしたいです。

二つ目は、ながれぼしがなんども見えるせかいです。ながれぼしは、一ども見たことがなくて、おねがいごとを三回となえるのはむずかしいので、なんどもやってみてせいこうしてみたいです。

いつかもしもボックスをつかって、この二つのせかいをたいけんしてみたいです。

【人権に関する作品入賞】

ヘアドネーション

ひらばる こはく

二年生のたんじょう日に、ほいくえんからずつとのはしていたかみの毛を三十五センチ切りました。理ゆうは、「ヘアドネーション」をするためです。

ほんとうは、かみの毛は、切りたくありませんでした。だけど、かみの毛は、もうこんが長い間、とんとん新しい毛を作りつつけるので、切ってもまた長くなるとおかあさんが教えてくれました。おかあさんは、その時も一つ教えてくれました。

かんというびょうきになった人のおくすりのこうがんざいは、かみの毛を作るさいぼうをこうげきして、ふくさようでかみの毛がぬけてしまいます。そして、その人たちのかつら、ウィッグというものを作るヘアドネーションというか

つどうがあることを教えてくれました。

もし、わたしがびょうきでかみの毛がぬけてしまったとしたら、学校にもすきなお買いものにも行きたくないなと思いました。けれど、ウィッグがあったら、出かけられるかなと思いました。どうどうと外を歩けるせかいになったら一ばんいいけど、ウィッグがあることで一人でも元気になる人がいるとわたしもうれしいので、わたしはのばしていたかみの毛をひつようとしてくれている人につかってもらいたいと思って、かみの毛を切ってヘアドネーションをすることを決めました。

ヘアドネーションで一つのウィッグを作るのには、三十人分のかみの毛がひつようです。わたし一人のかみの毛では足りないけど、元気なわたしたちのかみの毛は、まだどんどのびていくので、ヘアドネーションをしてくれる人が、日本中にたくさんふえるといいなと思います。

わたしは、かみの毛は長いヘアスタイルがすきです。なぜかというところ、かみの毛をピンでとめたり、みつあみをしたり、おしゃれができるからです。

わたしは、びょうきのお友だちもいつか元気になって、自分のすきなかみがたができるようになると思います。

【動物の作文コンクール入賞】

うしのおせわ



あいぼし りりい

わたしのおじいちゃんとおばあちゃんは、うへのうをしています。そこに、みやざきの大学生がうしさんのおべんきょうに来ています。そのおねえさんといううしさんにお手つだいをしました。

まず、うしさんのごはんとごころを、竹ぼうきではきました。きれいになったうしさんのお目がまぶしているものと、ちゃ色のつぶと白のつぶをまぜました。まぜているとちゅうに、おなかをすかせたうしさんが、「はやくちょうだ

い」といっておようぶくをなめてきました。えさをあげると、おいしそうに食べていました。

ちちしほりがはじまって、そのミルクをうしさんたちにのませました。とっても大きいほにゅうびんをつかいました。うまれたての赤ちゃんは、のみかたがわからなかったので、おててでささえて、口のところまでもっていつてあげました。

すこし大きくなったうしさんたちは、のみおわると「あそんであそんで」とちかよってくるので、おねえさんと体や顔をなでたり、名前をよんだりしました。

つぎの日は、アイスクリームごうじょうでお手つだいをしました。たまごを二百こぐらい、からが入らないようにわるのがたいへんでした。大きななべにしばらくたてのぎゅうにゅうとたまごを入れてまぜたものを、大きなきかいでかみバックにつめました。かみバックをセットするのをおねえさんとタイミングを合わせてはめました。おわったあと、みんなでアイスを食べました。

そうじ、ミルクやり、えさやりと、たいへんだったことを思い出すと、なみだが出るほどおいしかったです。

夏休みがおわると、おねえさんも大学にもどります。わたしもいつか、おねえさんみたくにらくのうのおべんきょうをして、おじいちゃん、おばあちゃんの力になりたいです。おねえさんがほくじょうを作ったら、こんどは、わたしがおべんきょうに行きたいです。